

みなみかぜ

No. 582 2024.9.1

編集 黒石・厚南・西宇部人権学習会
みなみかぜの集い

発行 宇部市隣保館厚南会館

思い込みから始まる差別

宇部市立黒石小学校 6年 天 島 夕 桜

どうして、女性のお医者さんは女医と呼ばれて、男性のお医者さんはお医者さんと呼ばれることが多いのだろうか。パイロットもそうだ。女性のパイロットは聞いたことがあるけど、男性パイロットはあまり耳にしない。今の世の中では、そうやって、みんな意識しないうちにジェンダー差別をしているのではないだろうか。

ところで、世界のジェンダーギャップランキングというものがある。1位のアイスランドでは、クォーター制というものがある。これは、企業役員や国会議員などが、男女ともに40パーセントを下回ってはいけないと定めているものだ。これにより、国会議員の5割程度が女性になった。一方、日本のジェンダーギャップランキングの順位は146カ国中125位。女性国会議員の割合は16パーセント。これは、186カ国中、164位。やはり、日本はジェンダー差別の対策が進んでないのではないかと思う。

男性だからこうじゃないといけない、女性だからこうじゃないといけないと言われる世の中じゃなくて、自分のしたいこと、やりたいことができる世の中になってほしいと思う。誰かが変えてくれるじゃなくて、自分が行動することがたいせつなのではないのだろうか。

私は、日本が女性も男性も就きたい仕事や、やりたいことが自由に選択できる国になってほしい。小さな一歩かもしれないけど、家事や育児を分担して、子育てに男性も積極的に参加できる社会づくりを進めることで、女性も男性と同じように社会で活躍できる場面が増えるかもしれない。こういう風に身近なところでできることに取り組んでいくことが、少しずつ社会を変えていくと思うのだが、女性らしさや男性らしさという言葉がいつの間にか、女性とは男性とはという思い込みになってしまったのかもしれない。しかし、一番大切なのは女性らしさでも男性らしさでもなく、自分らしさだと私は思うのだ。

9月15日(老人の日)から21日までの7日間

「老人週間」です。



“高齡者が生きがいを持って自分らしく暮らせる
支え合い助け合う地域共生のまち”

基本目標 「健やか」「生きがい」「尊厳」「安心」「基盤づくり」

- ◆すべての高齢者が安心して自立した生活ができる、保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。
- ◆高齢者の知識、経験や能力をいかした、就労・社会参加・ボランティア活動を進めよう。
- ◆高齢者の生きがい・健康づくり、介護予防等への取り組みを進めよう。
- ◆高齢者の人権を尊重し、認知症高齢者への支援の在り方や介護問題等をみんなで考え、高齢者や介護者を支える取り組みを積極的に進めよう。
- ◆高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解し、多世代がお互いに協力して安心と活力ある健康長寿社会をつくろう。
- ◆減災や防災への取り組みに関心を持ち、日頃から地域でのつながりを築こう。

【巡回職業相談 ～就職活動に関する個別相談～】 〈申込要、無料〉

- 日時 令和6年9月17日(火) 15:00～16:30 《相談可能時間》
- 会場 隣保館厚南会館
- 申込 ☎31-0164 部門コード 44# ハローワーク宇部 専門援助部門
※申込〆切 9月11日(水)

【原・黒石・厚南・西宇部地区人権教育合同研修会】 〈申込要、無料〉

- 日時 令和6年9月11日(水) 14:00～15:40
- 会場 隣保館厚南会館 2階 大会議室
- 内容 講演 「進化(深化)する在宅医療」
～患者ニーズに応える在宅療養支援診療所を目指して～
講師 波乗りクリニック 院長 小早川 節
- 申込 ☎41-8155 隣保館厚南会館(※人数の関係でお断りする場合があります。)